

平成29年3月31日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(53回公演)報告

29.3.30 デイサービスセンター ビックベン 深谷市武蔵野

昨日に続き3月での5回目の公演です。舛田さんのカラオケを通じての友人の方の紹介です。前日の満足した公演で気分も上々、少し自信をもって今日の公演に臨みました。2時からの公演でしたが事前に公演先をチェックしていなかったため、少し早目の午後1時花園直売所の集合です。時間には5人全員そろいざ出発です。関越高速道路に近い場所と推測していましたがなかなか見つからず、施設に着いたのが1時45分でした。小島所長さんに挨拶し、前ステージをカラオケクラブの方をお願いし、すぐに着替えて準備をしました。2時から20分程のカラオケステージが終わり、いよいよ公演です。

40人程の方が今日のお客さんです。限られた時間でしたので先ず自己紹介をして演技が始まりました。最初は舛田さんの口上で始まる「南京玉すだれ」の演技です。今日のお客さんは「南京玉すだれ」を見るのが初めてという事で、「すだれ」から繰り出す色々な形にビックリし、大きな拍手と歓声が聞かれました。次に「すだれ」の仕組みと特徴を話して次の栗原さんからの「きよしのズンドコ節」に移りました。「ズンドコ節」の曲中に出てくる「きよし」という箇所では、客席から「きよし」という大きな声が聞かれました。根岸さんの「サザエさん体操」では、何時ものように職員の方にも曲に合わせて舞ってもらい会場は大いに盛り上がりました。最後に「東京五輪音頭」です。もうこの時は我々と会場にいる皆さんが一体となり、体を動かし手拍子してフィナーレとなりました。最後の5人で作る「五輪の輪」に大きな拍手を戴きました。小島所長さんからは再度のオファーを戴き手を振り会場を後にしました。帰りに花園のコーヒー店で今日の出来具合を話し合って帰途に着きました。





